該当する事項以外は二重線で消す。

記入例

様式第26号（第18条関係）

騒音特定施設等設置~~（使用）~~届出書

〇〇年〇〇月〇〇日

届出者が法人の場合は、本店の名称、所在地及び代表者の氏名を記入する。

届出者　氏名又は名称及び住所並びに法人にあっては、その代表者の氏名

前橋市大手町１－〇－１
群馬工業株式会社
代表取締役　高崎太郎

群馬県の生活環境を保全する条例第６４条第１項（第６５条第１項）の規定により、騒音特定施設等について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	**群馬工業株式会社 高崎工場**	※整理番号	
工場又は事業場の所在地	**高崎市高松町１－〇**	※受付年月日	年　月　日
工場又は事業場の事業内容	**自動車部品製造**	※施設番号	
常時使用する従業員数	**３２人**	※審査結果	
△騒音又は振動の防止の方法	別紙のと		

網掛け部分は記入不要です。

騒音特定施設と振動特定施設は別の届出書の提出を行うこと。

特定施設の種類	騒音特定施設・振動特定施設の別		型式	公称能力	数	使用開始時刻（時・分）	使用終了時刻（時・分）
	騒音特定施設	振動特定施設					
二、送風機		〇	ターボ	７．５ｋｗ	２	８：００	１９：００
二、送風機		〇	ターボ	１１ｋｗ	１	８：００	１９：００
二、送風機		〇	ターボ	２２ｋｗ	１	８：００	１９：００

備考　１　特定施設の種類の欄には別表第１２又は別表第１３に掲げる項番号及び名称を記載すること。

２　△騒音又は振動の防止の方法の欄の記載については、別紙によることとし、騒音に係るものにあつては、消音器の設置、音源室内の防音措置、遮音塀の設置等騒音の防止に関して講じようとする措置の概要及び振動に係るものにあつては基礎の防振措置、防振溝の設置等振動の防止に関して講じようとする措置の概要を明らかにするとともに、できる限り図面、表等を利用すること。

３　騒音特定施設・振動特定施設の別の欄の記載については、該当の欄に〇印を記載すること。

４　※印の欄には、記載しないこと。

５　届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格Ａ４とすること。

特定施設の種類	騒音特定施設・振動特定施設の別		型式	公称能力	数	使用開始時刻（時・分）	使用終了時刻（時・分）
	騒音特定施設	振動特定施設					
二、送風機		○	ターボ	３７ｋｗ	１	８：００	１９：００

届　出　参　考　事　項

Ⅰ	業　種（主要製品）	自動車部品製造業（○○○○）		資本金	千円 10，000	
	従業員数	総従業員	45人	電話番号	本社	027−224−○○○○
		工場従業員	32人		工場	027−321−××××
	面　積	敷　地	6，400㎡	担当部課名及び担当者	総務課　神田	
		建　物（延）	4，056㎡			

Ⅱ	騒音・振動	施設番号	特定施設名	設置年月日	数	施設番号	特定施設名	設置年月日	数
		1	送風機　7.5kw	平成15年8月25日	2				
		2	送風機　11kw	平成15年8月25日	1				
		3	送風機　22kw	平成15年8月25日	1				
		4	送風機　37kw	平成15年8月25日	1				

Ⅲ	騒音・振動	５０m以内の学校・病院等		有・(無)	工場の主要特定施設	送風機	
		建物構造	建　物　№.	1	2	3	4
			建物内の主要施設	送風機			
			主体構造	鉄骨造			
			屋根構造	カラー鉄板			
			外壁構造	ＡＬＣ			
			内壁構造	石膏ボード			
			窓	アルミサッシ			
			空調の有無	有			

Ⅳ	操業時間	８：００～１９：００
	公害関係届出該当事項	(騒　音)・(振　動)

Ⅴ	［案内図］（別添でもよい） 別紙のとおり

Ⅵ	騒音・振動地域の区分	第　種	用途地域		メッシュコード	

別紙　騒音振動防止の方法

建物構造［該当するものに○または（　）内に記入のこと］
［ ※ 建物が複数ある場合は建物ごとに記入すること］

建物名（　　○○○○棟　　）

1　建物の階数

（　　**2**　　）階建

2　主体構造

①　木造　　②　鉄筋鉄骨コンクリート　　③　鉄筋コンクリート
(④)　鉄骨造　　⑤　コンクリートブロック　　⑥　レンガ造
⑦　その他（　　）

3　屋根構造

①　コンクリート　　②　モルタル　　③　瓦
④　亜鉛鉄板（トタン）　⑤　スレート板　　⑥　合成樹脂板
⑦　デッキプレート　　(⑧)　その他（　**カラー鉄板**　）

4　屋根内壁（天井）

①　木毛セメント板　　②　軟質繊維板　　③　モルタル
(④)　石膏ボード　　⑤　合板
⑥　その他（　　）　　⑦　内部仕上げなし

5　外壁構造

①　コンクリート　　②　モルタル　　③　コンクリートブロック
④　気泡コンクリート　⑤　スレート　　⑥　亜鉛鉄板（トタン）
⑦　板張り　　⑧　合成樹脂板
(⑨)　その他（　　**ＡＬＣ**　　）　　⑩外壁なし

6　内壁構造

①　木毛セメント板　　②　軟質繊維板　　③　モルタル
④　合成樹脂板　　(⑤)　石膏ボード
⑥　その他（　　）　　⑦　内部仕上げなし

7　窓［二重窓の場合は◎］

①　木枠ガラス窓　　(②)　アルミサッシ　　③　スチールサッシ
④　はめ殺し窓　　⑤　無窓　　⑥　その他（　　）

8　空調の有無

(①)　あり　　②　なし

9　建物内主要特定施設［騒音または振動対象の主要機械］

（　　**機械プレス　空気圧縮機**　　）

騒音の防止方法［該当するものに○または（　）内に記入のこと］

1　音源対策

①　消音機取り付け　　②　防音カバー取り付け　　③　防振装置取り付け

④　低騒音機械　　⑤　配置により防音　　⑥　その他（　　）

⑦　特になし

2　遮音壁

①　あり　高さ（　　）m　　②　なし

3　敷地境界から工場建屋までの距離

最短距離（　８　）m　　最長距離（　２２　）m

4　作業時間

開始時間（　８　）時（　３０　）分　～　終了時間（　１７　）時（　００　）分

※　残業時　　終了時間（　１９　）時（　００　）分

5　工場建屋対策

①　吸音処理　　②　遮音処理　　③　無窓処理

④　その他（　　）⑤　特になし

6　その他の騒音防止対策

（　　）

7　敷地境界線での推定騒音値（計算書等を添付すること）

推定値（　５５　）ｄＢ＜（1、2、3、4　）種区域　{昼間／朝・夕／夜間}　の規制基準（　６０　）ｄＢ

振動の防止方法

1　振源対策

①　固定基礎　　②　弾性基礎　　③　吊り基礎

④　低振動機械　　⑤　配置により防振　　⑥　その他（　　）

⑦　特になし

2　防振のための溝

①　あり　深さ（　　）m　　②　なし

3　その他の振動防止対策

（　　）